

せせらぎ通信

令和6年度 6月号

椎葉村立大河内小学校だより



「福祉」に関する授業を始めました。

いよいよ梅雨らしい天気が続くようになりました。今年は、例年に比べて梅雨の期間が短いに関わらず、雨量は平年並みであるため、一度に大量の雨が降ることが予想されています。大雨に弱い大河内地区が、これ以上の災害に見舞われないことを祈るばかりです。

6月も終盤を迎え、子どもたちや教職員からは、夏休みの話題も聞かれるようになりました。そんな中、3・4年生は、総合的な学習の時間に「福祉」に関する学習を始めました。(5・6年生も、2学期に取り組みます。)その学習の第一段階として、「福祉って何?」というところから学ぶために、椎葉村の社会福祉協議会の2名の職員をお招きして話をさせていただきました。その話の冒頭、職員の方が子どもたちに問いかけました。「『“ふくし”って何ですか?』と尋ねられたら、あなたはへと答えますか?」この問いを聞いた子どもたちの手がスッと挙がります。一人ではありません。次々に答えていきます。『人の暮らしを幸せにすることです。』『障がいのある人を支えることだと思います。』『みんなが安心して生活できるようにすることだと思います。』どの子も素晴らしい答えです。そして、講師の方が次の質問をしました。「誰のために“福祉”はあるの?」「『地域の人のため』『学校の人のため』『世界中の人のため』『お年寄りのため』『困っている人のため』『体が不自由な人のため』またまた、子どもたちはスラスラと答えます。この様子を見ていて「大河内っ子、すごいぞ!」と思いました。いつもの自信なさげな姿ではなく、堂々と答えている子どもたち一人一人が輝いて見えました。「この子たちなりに“福祉”について理解している。」「これまでの生活体験や学習がしっかりと役立てられている。」と思う出来事となりました。

3・4年生は、これから「視覚障がい者に焦点をあてた学習」を進め、5・6年生は「幼児や高齢者に焦点をあてた学習」を2学期に行う予定です。どちらも、「みんなが幸せに暮らせるために、自分ができることを考え、行動する」ことが最終ゴールになります。お家の方々や地域の皆さんの力をお借りしなければならない場面もございます。ご協力よろしく申し上げます。



心が穏やかになった鑑賞教室

6月17日(月)に3名の演奏者をお迎えし、「大河内小鑑賞教室：リベラハーブアンサンブル」を開催しました。ハープやフルート、パーカッションによる生演奏によって、体育館全体が何とも言えない心地よさに包まれました。ハープの澄み切った音、フルートの柔らかく温かな音、それらに合わせて優しくたたかれるパーカッションの音、そして、それらの音に合わせるかのように、体育館の外からは鳥の鳴き声が聞こえてきました。まさに、大河内の大自然と調和した瞬間でした。

子どもたち10名のために、奏者の方々は宮崎市から駆けつけてくださいました。たった1時間の小さな音楽会でしたが、心穏やかな時間を過ごすことができました。



水泳の学習が始まりました。

まだまだ梅雨らしくない天気が続いていた6月11日(火)に今年のプール開きを行いました。この日のためにプールをきれいに清掃し、少しでも泳ぎやすい水温にしようと、早めにプールに水をためていました。その甲斐あって、水温は22℃にまで上がり、ハウス内の気温も28℃でしたので、我慢しなくても入れる状態でプール開きを行うことができました。

準備運動の後、今年の水泳学習の目標を一人ずつ発表しました。どの目標も控えめな目標でした。シャワーの後、水中でじゃんけんしたり、水面に大の字に浮かんだりして時間をかけて水慣れを行いました。1年ぶりの水泳学習は、気温も水温も高く、たくさんの笑顔がはじけました。

一概に「水泳学習」という言葉を使っていますが、正確には、3・4年生は「浮く・泳ぐ運動」、5・6年生は「水泳」と発達段階に応じて指導内容が分けられています。(ちなみに、1・2年生は、「水遊び」です。)ですので授業始めの準備運動や水慣れの時間は、全学年合同で行いますが、それらが終わると学年別指導になります。コースを分けて、それぞれの学年で別メニューの学習となります。

3・4年生の目標は、「補助具を使ってのキックやストローク、呼吸をしながらの初歩的な泳ぎをすること。」、5・6年生の目標は、「25～50m程度をクロールや平泳ぎで泳げること。」です。1学期終了まで限られた回数しかありませんが、この目標に向かって練習に取り組ませていきます。



いのちの教育週間

平成30年度より宮崎県では、夏休み明けに子どもたちが元気に、そして笑顔で登校できるように、夏休み前の7月1日から7日を「宮崎県いのちの教育週間」に設定しています。各学校においてこの週を中心に、いのちについて考える取組を重点的に行うことで、県下一斉に、「いのちの大切さ」について、改めて考える機会としています。大河内小でも、この週間には、道徳や学級活動等での学習に加え、全校朝会でも関連する内容を話します。

4月8日の始業式では、大河内っ子が一年間絶対に守ること＝「いのちを大切にする」という話をしました。機会ある度に「自分の命は自分で守る」「自分の命は自分だけのものではない」という話をしています。言葉では分かっている、そのことを行動に移すのはなかなか難しいものです。それでも、繰り返し、繰り返し指導しなければなりません。命は最も大切なものだから。



主な行事(予定)



- | | |
|---------------------------------------|-----------------------|
| 2日(火) 参観日 学級懇談会 学校保健委員会
ロングクラブ(釣り) | 16日(火) 白太鼓練習 |
| 4日(木) 集合学習(高学年)～5日(金) | 17日(水) ノーメディアデー |
| 8日(月) ロングクラブ予備日 | 18日(木) プール納会 |
| 9日(火) 白太鼓練習開始 | 19日(金) 終業式【下校バス13:30】 |
| 11日(木) 宿泊体験学習～12日(金) | 20日(土)～夏休み(8月27日まで) |

